

研修報告

文教常任委員会

5月14日～5月15日

●研修目的

小中一貫教育

1日目

●研修地

広島県府中市

●研修内容

広島県東部に位置し、人口約4万2,600人、約1万7,500世帯の市である。

視察した府中学園は、小中学校一体型の一貫校として平成20年に開校した。導入の理由は、中学校に入学した段階で不登校の生徒が増加する傾向や、基礎・基本定着状況調査の結果が小学5年生と中学2年生で大きな開きがあった。そこで、義務教育9年間を一つとした小中一貫教育を導入した。導入後は、不登校生徒数が減少した。



「小中一貫校の利点は？」

2日目

●研修地

広島県廿日市市

●研修内容

また、生徒指導の連携、異年齢の交流活動、乗り入れ授業などの取り組みで「中一ギャップ」の解消になっている。学力についても全国平均、広島県平均ともに上回っている。学力的に平成20年より小中一貫教育を推進し、連携型と一体型の二つの教育活動を展開している。現在までの取り組みで、徐々に成果が出ている。

また、生徒指導の連携、異年齢の交流活動、乗り入れ授業などの取り組みで「中一ギャップ」の解消になっている。学力についても全国平均、広島県平均ともに上回っている。学力的に平成20年より小中一貫教育を推進し、連携型と一体型の二つの教育活動を展開している。現在までの取り組みで、徐々に成果が出ている。

●今後の課題

小中一貫教育の推進と共に、義務教育9年間を通じて子どもたちの可能性、個性をできる限り引き出し、学校・地域・行政が一体となり、多様性を認める教育の推進が必要であると強く感じた。

共に、義務教育9年間を通じて子どもたちの可能性、個性をできる限り引き出し、学校・地域・行政が一体となり、多様性を認める教育の推進が必要であると強く感じた。

厚生常任委員会

5月22日～5月23日

●研修目的

小型家電の金属リサイクル

児童館の運営

埋立物の処理

1日目

●研修地

香川県直島町

三菱マテリアル

●研修内容

大正6年創業開始、現在では新連続製銅炉導入により1万7,000トンの精錬能力と、粗銅から純度を上げるため銅電精錬工場があり、99.99%を誇る高純度の銅セ

大正6年創業開始、現在では新連続製銅炉導入により1万7,000トンの精錬能力と、粗銅から純度を上げるため銅電精錬工場があり、99.99%を誇る高純度の銅セ

2日目

●研修地

東温市

●研修内容

いわがらこども館 オオノ開発

平成17年庁舎跡地を利用して造られた「いわがらこども館」は、木造の円形二階建て、中央部はふき抜けになった大広間がある。用途に合わせ図書室を含む14部屋が配置され、開放的な空間を保ち、屋外運動場もある。

●研修内容

平成17年庁舎跡地を利用して造られた「いわがらこども館」は、木造の円形二階建て、中央部はふき抜けになった大広間がある。用途に合わせ図書室を含む14部屋が配置され、開放的な空間を保ち、屋外運動場もある。

●今後の課題

今回の研修で、学んだことを本町でも取り入れていきたい。

今回の研修で、学んだことを本町でも取り入れていきたい。



開放感あふれるこども館

の利用者数は、2万9,350人、1日平均100人である。

オオノ開発は、国道11号桜三里より5分ほど入った東温市河之内地区に、140haの敷地で昭和41年

創業開始。

リサイクル事業、産業廃棄物処理事業などを包括的に手掛け、先進技術を導入し「安心環境を次世代へ」を理念に事業を進め資源循環型・ゼロエミッション（廃棄物ゼロ）を目指している。

松前町の焼却灰を年間約1,000トン処理している。

●今後の課題

今回の研修で、学んだことを本町でも取り入れていきたい。

今回の研修で、学んだことを本町でも取り入れていきたい。